

令和5年度 第1回草津市スポーツ推進審議会 議事要旨

■日時：

令和5年8月10日 18時00分～19時30分

■場所：

草津市役所8階大会議室

■出席委員

岡本委員、中野委員、酒井委員、嘉悦委員、田中委員、西川委員、佐野委員、山元委員、奥田委員、齋藤委員

■事務局

藤田教育長、増田教育部長、岸本教育部副部長、田中教育部副部長
スポーツ推進課 堀井課長、遠藤課長補佐、川越主査

■傍聴者：

0名

1. 開会

【教育長】

本日はお忙しい中、第1回草津市スポーツ推進審議会にお集まりいただきましてありがとうございます。

日ごろから委員の皆様には、本市の教育行政、ならびにスポーツ推進に格別の御支援と御協力をいただいておりますことを厚くお礼申しあげます。

今年の5月からコロナが5類に移行になり、イベント等開催ができるようになりまして、先日は市の体育振興会連絡協議会による第1回学区対抗スポレク祭が開催され、ソフトバレーボールを通じて多くの住民の方々の交流と親睦を図っていただきました。

また、また競技スポーツの分野では、本市在住の山本亜美選手が、日本陸上競技選手権大会で女子400メートルハードル3連覇を果たし、市民スポーツ大賞の表彰式も行わせていただきました。そののちタイで開催されたアジア陸上選手権大会でも3位という好成績で、草津市民として大変うれしいニュースがありました。

本市では、これまで第二期スポーツ推進計画により、スポーツ環境の充実をはじめ、各種イベントの開催支援、将来を担うアスリート育成など、スポーツに関する様々な施策を展開しているところであります。

今年度からは、この後諮問させていただく（仮称）新志津運動公園の整備を進めていく予定をしております。委員の皆さまには様々な観点から（仮称）新志津運動公園の有り方や活用についてご理解いただきますとともに、審議会での活発なご議論をお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますけど、審議会開催にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

2. 議事

【委員長】

雑誌の「東洋経済」で都市データパックの住みよさランキングで草津市は近畿地方で1位という結果になりました。

2025年には国民スポーツ大会が開催され、草津市もいろいろなスポーツ施設の整備が行われております。

我々のこの審議会で議論することは、施設の整備だけではなく、この施設でいかに我々がスポーツを実施するのか、あるいは健康運動に取り組むのか、といった市民の健康利用をいかに捉えていくかというのが大きな目的と考えますので、今日の議論も進めていただければと願っております。やはり、近畿ナンバーワンを続けていく、一つの要因としてスポーツ施設の健康利用をいったところを、市民の方々がいい街だよと言っていただけるように、我々も議論を進めていければと思います。

(1) 令和5年度の審議会の進め方について

【委員長】

今年度については、(仮称)新志津運動公園整備計画のことについて議論いただきたいと考えます。

【事務局】

(資料4の説明)

(2) 基本計画の位置づけ (3) 基本計画の前提条件について

【事務局】

(資料5, 6, 7の説明)

【委員長】

資料11ページのグラウンド利用率のデータはグラウンドのみの利用率か、体育館の利用も含まれているのか。

【事務局】

グラウンドのみの利用率を示している。

【委員長】

小学校、中学校など、学校のグラウンド開放は、日本のみで行われている。特に草津市において各小学校のグラウンドを開放している。

【委員長】

もう一つ、この新しい施設を整備することによって、これまで以上にスポーツ環境が改善されていくということでの前提の議論でよろしいでしょうか。

【事務局】

その通りでして、市民の方々にたくさん使っていただくことを大前提に、皆さんに使っていただきやすい施設とはどうなのか、という点でご意見を頂戴したい。

【委員長】

スポーツ推進計画を作っていくときに、我々が気にしているところは、競技スポーツを議論するだけでなく、健康スポーツも常に意識しながら議論していきましようということを進めている。草津市の健康福祉部局で、スポーツ・運動にかかる施策を打ち出している。特に高齢者の運動をどう見ていくのか、その点は((仮称)新志津運動公園の議論と)かなり被ってくると考える。我々

としましては、競技そのものではなくてもいいが、少しウォーキングだけでもなく、もう少し競技性があるものができてもいいと考える。一方で伸びができる器具があってもいい。そういった発想でみなさんにご議論いただきたい。

【委員】

高齢者になると、((仮称)新志津運動公園に来るための)交通機関のことが心配である。

【委員長】

高齢者の方々も利用できるような交通の便についての意見をいただいた。こういったご意見など、こういった角度でも結構ですのでご意見いただきたい。

資料5ページの資料を見ていただきまして、第2回目の審議会に向けて、特に導入する施設、機能、規模についてテーマを作っていく。このところに、皆さんのご意見を反映させていければと思います。

【委員】

資料8ページの航空写真ですが、予定地があるところ、これは丘陵地で里山が残っている。33,000平米の中で13,000平米を残さなければいけないということですが、今回の運動公園の議論を行う中で、これを全く無視して考えていくのか、これも入れたなかで運動公園を考えていくのかを確認したい。

【事務局】

議論のベースは、20,000平米の範囲のところである。40%のところは開発のところでは技術的な部分もある。この13,000平米のところの維持管理の問題も出てくる。

議論の順番として、公共施設として整備するところを対象としていただき、残す部分(13,000平米)については、維持管理などの問題もあるため、滋賀県と協議を行った上で判断したい。

【委員長】

40%の部分の残し方は議論の対象外であり、残り60%の部分20,000平米が議論の対象である。立命館大学草津キャンパスでも、この40%の残し方は滋賀県、草津市と調整した。

【委員】

予定には地権者が23名おられ、皆さんから承諾を得た。残地40%の残し方に関心がある。この部分を議論の対象外とするならば、地権者の意向が変わる可能性もある。

グラウンドゴルフをやっており、4~5チームあるが、一番困るのは駐車場のことである。せっかく造るのであれば駐車場を充実して多くの方が集まれるようにしてほしい。(仮称)新志津運動公園については、グラウンドゴルフ場の要望もある。予定地の西側の部分については、今後田んぼになる可能性があるという聞いた。

【委員長】

里山についても議論の対象とするべきとのご意見、自動車等を運転しない人の来場をどうするかについては課題として挙げるべきで重要である。

グラウンドゴルフは、滋賀県北部では実施率が高い。これまでのスポーツ審議会の中でもグラウンドゴルフの重要性は議論されてきた。他の運動と兼用できるグラウンドでもいい。

【委員】

新しい運動公園について、芝生の広場にするのか、土にするのかについても議論するべき。

【委員長】

ご意見いただいた芝の件。近江八幡市の小学校のグラウンドはすべて芝にしており、管理はスポーツ少年団が行っているなど良いモデルである。

【委員】

グラウンドゴルフのことですが、他の場所では1日30人〜40人が朝から昼からグラウンドゴルフを行っている。こんこん山、冒険の森など保育園の子供たちが走り回っている。残地の40%の部分ものびのび使えたら良い。芝にした箇所は手間が掛かっていると聞いた。

【委員長】

土の場合も、雨で水みちができるなど手間がかかっている。グラウンドゴルフは非常に競技性が高く、彦根や長浜では競技会も行われている。

【委員】

芝の場合、維持管理に掛かる費用が心配である。天然芝より人工芝の方が良いかもしれない。

【委員長】

天然芝は手間暇がかかるというご意見でした。人工芝も弱点があり、熱を持つため水を撒く必要があり、費用が高い。管理によっては表面に凹凸が生じるため、管理の方法も課題である。

【委員】

（仮称）新志津運動公園予定地は、自然に囲まれている点で立地に恵まれている。街の中の公園はそれで特徴を出すべき。

予定地の西側に住宅地があるが、ここの住民の方々は賛成なのでしょうか。

【委員】

同意はしている。今一番困っているのは竹の増殖で、全部切ってほしいと聞いている。また、公園に設置する照明については、光害に配慮してほしいとの意見がある。芝については、管理を考えて、夏用の芝と冬用の芝を混ぜて植えなければいけない。

【委員】

手が入っていない里山はどんどん荒れていく。竹が入ってくるとどうしても入れなくなってくる。里山プロジェクトを私はやっているが、40%の残地部分に人が入れないなら里山が荒れるだろうし、竹が入ってくる。放置してしまったら大変なことになる。

【委員長】

40%の残地を残す上でも、ウォーキングコースを造るなどで環境が変わり、隣接住民の生活環境も良くなる。その上でグラウンドを考えてはどうかというご意見をいただいた。

【委員長】

競技性に関するご意見はいかがか。サッカーや野球など、他にこのような競技がしたい、このような使い方をしたいなど。大津市も含めたウォーキングコースの拠点をここに造るなどのご意見はないか。

【委員】

ウォーキングコースはあちこち行っていますが、高齢になったらどうかと考える。交通のことも考える必要がある。

【委員】

40%の残地部分にウォーキングコースを造る意見があるが、この里山に所有者はいるのか。

【事務局】

現在はまちづくりに関する団体が、地権者の方からお借りしている。

【委員】

33,000平米が（仮称）新志津運動公園なのか。

【委員長】

33,000平米が（仮称）新志津運動公園であり、この中に緑を残す部分と活用する部分がある。

【委員長】

(委員の) スポーツに関する団体の資料はどこに保管されているのか。

【委員】

草津市スポーツ推進課に保管している。会議は市役所で行っている。

【委員長】

その資料を保管する場所、打合せを行う場所が、(仮称) 新志津運動公園にあっても良いのではないか。このような新しい発想も良い。

【委員】

議論の対象は、33,000 平米なのか、20,000 平米だけなのか、明確にならないとこの先進めないのではないか。

【事務局】

もともと旧志津運動公園の代替施設の整備として検討している。県の基準にあるように 40%の緑を残し、それ以外を運動公園として活用する。40%の残地部分の扱いについては、これはなかなか教育委員会だけで議論できる話ではないので、今日いただいた意見につきましては全庁的に協議する必要があると思っている。この審議会では、この 20,000 平米のスポーツ施設について議論いただきたい。

【委員長】

33,000 平米の中で 20,000 平米の部分を対象とした議論を進めるということで(委員のみなさん)よろしいでしょうか。

【委員】

グラウンドゴルフをやっている方々に、(仮称) 新志津運動公園の整備のことを話した際、中心部から遠いという意見があった。駐車場は大きくとって欲しい。駐車場が少ないと利用率が下がるのではないか。

【委員長】

若い(委員)の人たち、こんな競技ができたらいいななど、ありますか。

【委員】

私はアルティメットというスポーツをしている。グラウンドが砂だと雨の日にできないので、水はけが良いグラウンドをお願いしたい。

【委員】

私は空手道をしている。走り込みなどで外の練習もするため、こういう施設があるといい。アクセス方法(交通)についても考えていくべき。器具については、懸垂など鍛える施設がほしい。

【委員】

ロクハ公園にもいろいろな鍛える器具がある。

【委員長】

質問ですが、陸上競技場は必要でしょうか。400mトラックは難しいかもしれませんが。草津市には(陸上競技場)は無いですが。

【事務局】

実施中のアンケートで、陸上競技場のニーズがあるかどうか確認する予定である。

【委員】

守山市の方に素敵な陸上競技場がある。同じようなものを造るのは工事も費用がかかるのではないかと思う。

【委員長】

陸上競技協会は、400mの陸上競技場が欲しいというご意見はお持ちではないかと思う。

【委員長】

(ここまでの議論のまとめ)

グラウンドゴルフ場が欲しいとのご意見を新たにいただいた。ニュースポーツなども発信できれば良いと考える。体幹を鍛える器具があればよいという意見をいただいた。

【委員】

地元のご意見も聞くことができた。

グラウンドゴルフをされる方が常盤学区から野洲まで行かずに(仮称)新志津運動公園でできれば良い。平日の利用について、競技などのニーズをいろいろ把握してみてはどうか。

【委員】

グラウンドを天然芝、人工芝、土にするのか、この審議会で議論できたらいいと思う。

【委員長】

これまでにいただいた意見を事務局で整理し、第2回スポーツ推進審議会でたたき台を見ながら議論できれば良い。緑の中(残置 40%の場所)にウォーキングコースなどを整備し、中に入れた方が良いという意見もあった。

【事務局】

(資料8の説明) 現在、ニーズ調査中で8/24まで実施する。

【委員長】

(委員)のスポーツ団体などの、会議の場づくりもあっていいのではないか。

競技団体も資料を個人宅で管理するのは問題もあるため、上記の場(建物)に保管場所があってもいいのではないか。

【事務局】

貴重なご意見いただきありがとうございます。

本日いただきましたご意見を基に、またニーズ調査を踏まえて審議会を進めてまいります。

以上